

Akatake Times

Vol. 62
(通算 第215号)

立秋(8月7日)・・・夏の暑さが極まり、秋に向け季節が移り変わり始める日となっていますが30℃越えの日が続き、まだまだ夏が終わらない今日この頃です。
54期も良いスタートが切れるよう、暑さに負けず熱盛！で参りましょう！



『TOKYO DOME』

7/13(土) 会社の仲間と「読売ジャイアンツvs横浜DeNAベイスターズ」の野球観戦に東京ドームへ行ってきました。

結果は6-1でジャイアンツの勝利でした。

真ん中でベイスターズファンのお父さんがうなだれていますが、実はこの方が一番楽しんでます(^_^)

次回はベイスターズのホーム球場、横浜スタジアムで観戦したいですね。

プロ野球ファンの方がいらっしゃいましたら、是非一緒に観に行きましょう(^-^)

撮影:2024年7月13日 根岸 広喜



しかし、毎日暑い日が続きますね。私が子供の頃の夏って暑いなあと感じるのは30℃程度だったのに、今や40℃に近づく気温になっています。地球温暖化が進んでいる証拠ですね。こうなったらもう慣れていくしかないでしょう。熱中症にならないように気を付けて生活していくしかありませんね。

◆「忍びの食べ物」

今回は食べ物の話を少し。

戦国時代には、戦において様々な保存食が使用されていました。例えば、お湯や水で溶かしたり、ふかしたりして食べる干飯(ほしいい)や、味噌玉、梅干しなどが挙げられます。梅干しは食用だけでなく、傷口の消毒にも有効なものでした。

ところで、この時代に最も過酷な労働を強いられたのは、やはり忍者であろうと言われています。関所や国境を越えて敵の城に忍び込み、極秘に情報を入手するなど、様々の諜報活動を行うために、相当な体力の消耗と緊張を強いられたことでしょう。

したがって、忍者が持参する保存食には、特段の工夫が施されていたようです。

これらのレシピは忍者ごとに異なり、口伝で秘匿されているため、ほとんど分かっていないと言います。しかし、その中で伊賀、甲賀双方の忍法を網羅的にまとめた「万川集海」には、兵糧丸(ひょうろうがん)、飢渴丸(きかつがん)、水渴丸(すいかつがん)の三種類の保存食に関して、その調理法が簡単に記載されているようです。いずれも直径3cmほどの球状粒子であり、その中に栄養源となる砂糖などと共に、精神安定剤、整腸薬、のど薬の効果のある漢方薬などが混合されていたようです。しかも、4～5年経っても普通に食べられ、安定性も良いと言われているようです(本当かな?)。これらは、蓮肉や朝鮮人参などを粉状に砕き、精密に混合、造粒して仕上げたものだと言われています。この球状粒子を食べると、胃の中で比表面積の大きい各素材粒子に分解し、身体に効果的に吸収されるそうです。

素材に高価な漢方材料を使っていることに少し驚かされますが、大名が忍者の諜報活動に随分お金をかけていたことが分かります。

しかし、現代社会でもそんなに素晴らしい非常食?があれば、役に立つのではないのでしょうか? 食品会社や医薬品会社が技術協力して開発していけば、今の日本の技術を持ってすればできると思うのですが…。私が知らないだけで、もうできているのかもしれないが…。

◆「MP」

プラスチックは安価で耐久性に優れていることから、私達の生活のあらゆる場面で利用されています。その一部は使い捨て利用されており、その手軽さ故か、きちんと回収されずに河川などを経て海へと流入しています。海洋に蓄積したプラスチックごみは、時間経過と共に劣化して微細なマイクロプラスチック(MP)粒子となり、海洋生物の体内に取り込まれていることが報告されています。

大気中では、粒子径が2.5μm以下の微小粒子状物質(PM2.5)が人の呼吸器系に沈着して健康に悪影響を及ぼすことが知られていますが、海洋中では、5mm以下のMPの環境影響が懸念されはじめています。現在、MP由来の環境リスクが顕在化した例は無いと思いますが、MPが生態系にどのような影響を及ぼすのか、詳しいことはまだ分かっていません。

MPは自然界で容易に分解されないため、今後、海洋に存在するMP量は増加すると考えられます。

すなわち、問題が顕在化するのはいずれからかもしれません。日本は、プラスチック消費大国で、近海のMP濃度が平均値より1桁程度高いにも関わらず、その対策は諸外国と比べて遅れているようです。このような環境問題は、本来、日本が得意とする分野と思われるので、四方を海に囲まれた日本が率先した計測・分析・予測手法の開発、リサイクル技術の向上や脱プラスチック社会の実現に向けた国際的な取り組みが期待されます。もちろん、私たちの、より一層の意識改革は必要となります。難しい話ですが、プラスチックごみを増やさない! そもそもプラスチック製品を使わない! そういった努力、意識改革を一人ひとりがしていくことで、地球環境を良い方向に持っていけるのではないかと思います。

◆「54期スタート!」

9月ですね。我が社は9月から新期(54期)のスタートです。53期は大変良い成績で終わることができて、本当に良かったと思っています。社員の皆さんの頑張りのおかげです。ご苦労様でした。でも、会社に終わりはありません。また厳しい戦いが続きます。これからも我が社が安定して運営ができて、皆さんが幸せ!!と感ぜられるような会社にしていきましょう!!!



常務取締役 秋元 祐